

病院長の外来—よろず医療相談— WEB初診予約が始まりました。

外来を受診するその一歩が踏み出せない。

どう踏み出していいのかわからない。などなど。

受診や治療の前にご相談いただける、新しい外来診療のご案内です。



ご不安なお気持ち、とても良くわかります。
お一人で抱え込まずお話しを聞かせてください。
お一人お一人に適した方法を病院長自らご案内します。

それが病院長の外来—よろず医療相談—です。

病院長 田中淳一

◇毎週火曜日 17:00-18:00

◇完全予約制

※事前予約制（1日前の正午まで）

◇予約方法、問い合わせ

・WEB初診予約は[こちらから](#)

・お電話

TEL 045-371-2511（代表）

月曜日～金曜日（祝日を除く）14:00～16:00

※「病院長の外来—よろず医療相談—の件」とお伝えください。

◇対象

・健康診断、人間ドックで精密検査を勧められた

・セカンドオピニオンを受けたいが悩んでいる

・がんと言われ、どうしていいかわからない

…など、医療や健康上の問題に関すること

※小児科、精神科、婦人科疾患は除く



お気軽にご相談くださいませ。

<よろず医療相談ではこのようなご相談をいただいています>



最近食後に胃の痛みがあります。
市販の胃薬を飲んで一か月なのですが、すっきりしません。
緊急で生活に支障があるわけでも無いのですが、長引く不調が心配です。
胃カメラなどはしたことが無く、なんだか怖くて。気軽に検査を...とも気が進みません。



胃の調子が悪い時の検査では胃カメラが最適です。胃炎や胃潰瘍はもちろん、早期胃がんの診断には胃カメラ検査が必須です。当院では鎮静剤、鎮痛剤を使用した検査も行っており、つらい思いをしないよう、内視鏡の専門医にて丁寧に診させていただきます。
初めての方も安心してお越しいただけますよ。



健診結果で便潜血(+)でした。お腹の調子は特に悪くないのですが、精密検査は必要でしょうか？



大腸がんは日本で一番罹患率の高い(かかりやすい)がんで、50歳代から増加しはじめ、高齢化になるほど高くなり、男性に多い傾向があります。一方で女性のがん死亡原因の第一位は大腸がんです。大腸がんの治療方針はほとんど総ての病院で全国的に認められたガイドラインに従って決定されるのが一般的です。大腸がんの専門医のいる病院でのご相談をお勧めします。
なお、当院にも大腸外科専門医、指導医がおりますので、お気軽にお電話してみてください。



直腸がんの診断で人工肛門の造設が必要と言われました。どうしても人工肛門は受け入れたくありません。何か手はないでしょうか。



同じ直腸がんでも肛門からどの位離れているか、がんの深達度(筋層を置く深さ)やリンパ節転移の有無によって術式が異なります。がんを根治しながら人工肛門無しの手術が可能な場合もあります。是非専門医にご相談下さい。



毎日飲酒の習慣があります。毎年健診を受診しているのですが、異常有り(ALT・AST高値)と結果が出ています。医療機関に受診はせず経過しているのですが、不安です。



健診結果の読み方や、二次検査後、精密検査をすべきかどうか専門医にご相談いただくことをお勧めします。二次検査として、肝炎マーカーや超音波検査(腹部エコー)、また、CTやMRIなどの精密検査を順次組み立てて確定診断し、治療方針を決めることとなります。
まずは専門医をお訪ねください。

※上記内容はイメージです。実際の外来では、こちらに記載しているより詳しく、専門的なお話をさせていただきます。